

7月25日
神の祝福の契約
創世記15章7～21節

15:7 また彼に仰せられた。「わたしは、この地をあなたの所有としてあなたに与えるために、カルデヤ人のウルからあなたを連れ出した【主】である。」

15:8 彼は申し上げた。「神、主よ。それが私の所有であることを、どのようにして知ることができましょうか。」

15:9 すると彼に仰せられた。「わたしのところに、三歳の雌牛と、三歳の雌やぎと、三歳の雄羊と、山鳩とそのひなを持って来なさい。」

15:10 彼はそれら全部を持って来て、それらを真っ二つに切り裂き、その半分を互いに向かい合わせにした。しかし、鳥は切り裂かなかった。

15:11 猛禽がその死体の上に降りて来たので、アブラムはそれらを追い払った。

15:12 日が沈みかかったころ、深い眠りがアブラムを襲った。そして見よ。ひどい暗黒の恐怖が彼を襲った。

15:13 そこで、アブラムに仰せがあった。「あなたはこの事をよく知っていなさい。あなたの子孫は、自分たちのものでない国で寄留者となり、彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう。

15:14 しかし、彼らの仕えるその国民を、わたしがさばき、その後、彼らは多くの財産を持って、そこから出て来るようになる。

15:15 あなた自身は、平安のうちに、あなたの先祖のもとに行き、長寿を全うして葬られよう。

15:16 そして、四代目の者たちが、ここに戻って来る。それはエモリ人の咎が、そのときまでに満ちることはないからである。」

15:17 さて、日は沈み、暗やみになったとき、そのとき、煙の立つかまと、燃えているたいまつが、あの切り裂かれたものの間を通り過ぎた。

15:18 その日、【主】はアブラムと契約を結んで仰せられた。「わたしはあなたの子孫に、この地を与える。エジプトの川から、あの大川、ユーフラテス川まで。

15:19 ケ二人、ケナズ人、カデモ二人、

15:20 ヘテ人、ペリジ人、レファイム人、

15:21 エモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人を。」

先週は神様がアブラハムに
恐れるな
わたしはあなたの盾
報いは非常に大きい
と3つのことを語られたことを
お話ししました。

アブラハムが恐れなくて、
将来に不安を持たないために、
神様はわたしは盾であると
お語りになりました。

アブラハムの心配

ケドルラオメルが攻めてくるのではないか。

これだけ犠牲的に働いたのに

口トは感謝もせず、反省もせずに元の所へかえって行った。

いったい何のためにこんな労苦をしたのか。

この労苦の報いは果たしてあるのか、

無駄な労苦だったのか。

この不安、空虚感の中にいるアブラハムに
恐れるな
わたしが盾である
あなたへの報いは甚だ多い。
と語られました。

アブラハムが信じられるために
神様はまず語られました。

語ったあと、さらにアブラハムが信じ、
確信を持つために
外に連れ出して星空を眺めさせました。
あなたの子孫はこの星のように多く輝くようになることを約束として語られました。

この星空を見ながら語られた神様のことは、
約束をアブラハムは信じました。
その信仰を神様は義と認められた。
神様がそれを彼の義と認めて下さった
ということは
アブラハムの信仰、認識、理解は
正しい、間違っていないと神様は認めて、
認定、承認して下さいました。

ここは信仰のクライマックスです。
アブラハムが信じられるように
天の星を見せながら語られ、
その時アブラハムはまだ結果を
見ていませんが
信じると告白しました。

私たちが神様を信じた瞬間、
何が信じる切っ掛け、
何が確信の根拠になったでしょうか。
神様との交わりで
結果を見なくても確信できる信仰に
成長させてくださいます。

神様はアブラハムが確信を持つために
もう一つのことをされました。
当時の契約を結ぶ方法を通してです。

15:9 すると彼に仰せられた。「わたしのところに、
三歳の雌牛と、三歳の雌やぎと、三歳の雄羊
と、山鳩とそのひなを持って来なさい。」

雌牛、雌やぎ、雄羊を
それぞれ真っ二つに切り裂いて、
それぞれを向かい合わせに並べ、
血潮流れる動物の間を
契約を結ぶ当事者が歩く。

これは当時、この地方での契約の結び方であり
ました。

日本でなら契約は調印と言います。
契約の時、署名して印鑑を押しますから
契約の時、調印と印鑑が出てきます。

聖書では契約を結ぶことをヘブル語で
カーラス ベリース(契約を切る)と言います
三頭の動物を二つに切り裂いて
向かい合わせに並べ、契約の当事者、
甲と乙がその動物の間を歩きます。
わたしが契約に違反したときは、
このように切り裂かれることに同意をしますという
意味であります。

神様はアブラハムが信じられるように
当時の契約の現場に書かせられました。

私たちも試験に合格したとき、
合格証書を見て手にした時確信します。

家を購入したとき
権利書を見て、登記簿の謄本を見て
安心して喜びます。

15:12 日が沈みかかったころ、深い眠りがア
ブラムを襲った。そして見よ。ひどい暗黒の
恐怖が彼を襲った。

15:17 さて、日は沈み、暗やみになったとき、そのとき、煙の立つかまどと、燃えているたいまつが、あの切り裂かれたものの間を通り過ぎた。

本来なら神様とアブラハムの契約です。

あなたの子孫を増やします、という契約。

神様とアブラハムが契約の当事者で、この両者が切り裂かれた動物の間を歩かなければなりません。

アブラハムが深い眠りに陥っている時、
煙の立つかまどと
燃えているたいまつが
切り裂かれた動物の間を通りすぎました。

象徴的ではありますが
煙の立つかまどは父なる神様を指し、
燃えているたいまつはイエス様を
指しています。

アブラハムの代わりにイエス様が契約者になって
くださいました。

アブラハムはこの約束を信じ続けることは出来ま
せんでした。疑いました。信じられずにハガルと
一緒になってイシュマエルを出産しました。

本来なら違反したアブラハムが切り裂かれなけ
ればなりませんが、

イエス様が切り裂かれてくださいました。

神様はアブラハムに
わたしは盾であると啓示してくださいました。
私たちを守るために
イエス様は身代わりに敵に矢を受けてくださるお
方です。

ケドルラオメルとの戦いの時、
メルキゼデクという祭司が示され、
身代わりに戦ってくださる、
身代わりに血を流して戦い守ってくださる
イエス様の姿が啓示されて行きました。

ここではアブラハムが契約を守れない、
私たちが不信仰になって疑い、
疑うだけでなく不信仰な行動、
罪の行為に走ってしまっても契約違反をしても
身代わりに切り裂かれて私たちを守り救ってくだ
さるイエス様の姿がアブラハムに示されました。

神様は迷い苦しむ私たちにも
救い主の御業、恵みを教えて下さり
語って下さり、目や心を開いてくださいます。
それゆえ、神様と交わる礼拝を大切にしたいと
思います。

日曜日の礼拝、毎朝の個人のデボーションを
大切にして、恵まれた一週間を送りたいと思い
ます。

祈り